

(様式例 2)

## 平成 23 年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立大垣工業高等学校

学校番号 27

### I 自己評価

1 学校教育目標	誠実にして心豊かな人間性と強くたくましい身体の上で、すぐれた知識と技術を兼ね備え創造性に富む実践的な産業人の育成を図る。このことを実現するために本年度は以下の重点目標を設定した。 (1) 社会で通用する確かな力を身に付けさせる。 (2) ルールやマナーを自ら守り、社会的規範を大切にさせる。 (3) 自ら健康と安全を管理できる生徒を育てる。	
2 評価する領域・分野	◇ 学習指導	
3 現状・生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	・「学校は子どもが意欲的に取り組むように授業の工夫をしている」という問いに対して 78 パーセント「あてはまる」という保護者の回答を得た。生徒も「わかりやすく説明されている」と回答したものが 75 パーセントとなっている。先生方の熱心な姿勢が伺われる。 ・反面「個人の興味・関心、希望や能力に合った選択授業」についてはそれぞれ 72 パーセント、64 パーセントとなっており、25 年度の新教育課程の編成に向けてこの点を考慮にいれる必要性が感じられる。	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	◇生徒の学習習慣の確立を図り、平常の実践を通して授業改善と生徒への支援の充実を行う。	
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	・学習指導係中心とした教員・生徒双方への支援 ・学科・学年を主とした担任へのバックアップ	
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
(1) 公開授業 week の設定と授業改善 (2) 基礎学力タイム (朝学習) の実施 (3) 考査前特別学習会の設定	(1) 授業アンケート (教員・生徒) (2) 参加率と小テスト・課題テスト結果 (3) 参加率と成績不良科目の減少数	
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
・生徒の学習習慣の確立を図り、平常の実践を通して授業改善と生徒への支援の充実を行う。 ・基礎学力タイム (朝学習) を実施し、教室における学習の雰囲気作りと基礎学力の向上を図る。 ・遅れがちな生徒を支援し、全単位修得を目指す。	①教員・生徒双方の授業評価・個人内評価が高まったか。 ②教室の授業姿勢の改善が上がり、成績が向上したか。 ③考査前の生徒のやる気が高まり、成績不良科目が減少したか。	A (B) C D A B (C) D A B (C) D
11 成果・課題	総合評価 A B (C) D	
12 来年度に向けての改善方策案	多様な生徒に対して教員側が対応しきれない面があり、一部のクラスで成績不良者が増加した点を重くとらえ、授業規律の徹底を中心に「わかる授業」の原点に戻って基礎学力を充実させたい。「基礎学力タイム」の改善を図り、考査前学習会を未提出物を解消させるように目的化して生徒のモチベーションをあげ、就職が厳しくなっている中、全科目の修得を全員に目指させて指導を継続していく。また 25	

年度の新学習指導要領に対応させ、本校の将来の展望を見据えて、進学者に少しでも対応させる等の教育課程を構築したい。

## II 学校関係者評価

実施年月日：平成24年1月16日

### 【意見・要望・評価等】

- ・基礎学力があまりない生徒がいるようである。学習意欲にも関係している。
- ・一部の生徒を見て学校全体が判断されることがあるので、しっかり指導をしてほしい。